

〈資料 1〉

平成29年度

第2回宇治市小中一貫教育推進協議会 資料

平成30年3月7日（水曜日） 18時00分～
宇治市役所 602会議室

目次

1	平成29年度宇治市小中一貫教育中学校ブロック活動状況	…	2
2	平成29年度中学校ブロック年度総括表		
	・ 宇治中学校ブロック	…	4
	・ 北宇治中学校ブロック	…	5
	・ 槇島中学校ブロック	…	6
	・ 西小倉中学校ブロック	…	7
	・ 西宇治中学校ブロック	…	8
	・ 南宇治中学校ブロック	…	9
	・ 宇治ひろの学園（広野中学校ブロック）	…	10
	・ 東宇治中学校ブロック	…	11
	・ 木幡中学校ブロック	…	12
	・ 宇治黄檗学園（黄檗中学校ブロック）	…	13
3	平成29年度宇治市小中一貫教育推進協議会の活動報告	…	14
4	平成29年度宇治市小中一貫教育に係る視察受入状況	…	15

平成29年度 小中一貫教育中学校ブロック活動状況(1)

一貫教育課

	◎ ブロック目標 ○ 運営組織体制 ◇ チーフ・ラーニング・コーディネーター校務分掌 ○ 教科連携教員教科等	○ 合同研修会	○ 授業研究会	○ 体験活動 □ 児童生徒交流活動	○ 家庭・地域と連携した取組	○ 学力診断テスト活用 ○ 授業システム ◇ 家庭学習の取組	○ その他 ○ 研究指定事業 ◇ 小小連携
1 宇治中B	◎「ふるさと宇治を愛し、みらいを展望し、たくましく生きる児童生徒の育成」 ○ブロック校長会、ブロック教頭会、コーディネーター会議事務局(校長・教頭・コーディネーター)7専門部会 ○小学校教務主任 ◇【市英語】	○小中合同研修会4回	○3専門部会公開授業研究会(事前研→公開授業→事後研) ・宇治字部会 ・授業づくり部会 ・人権・道徳部会	○新入生体験入学 ○中学生職場体験 ○ふるさと宇治21(12月) ・部活体験 ○クラブ部活動等指導 ・駅伝、鼓笛クラブ ○児童会生徒会合同リーダー研修会(12月)	○ふるさと宇治21(12月)をはじめとした諸行事への参加 ○6年生保護者に対して中学校教員が各小学校で「中学校準備講座」を開催	○学力診断テストの分析・交流による課題の共有	○学力課題に相点をあてた2小学校共通の書体みの宿題作成 ○分散進学校に配慮した取組
2 北宇治中B	◎「質の高い学力を目標し、授業改善を進める」 ○3校長連絡会、企画会議(校長・教頭・コーディネーター)、コーディネーター会議 ○授業部、学力部(学力分析係、授業改善係、家庭学習係、学習規律係、特別支援・教育相談担当係) ○中学校教務 ◇【市英語】	○総会(6・8・2月) ○授業参観の取組 北宇治中(6月) 小倉小(10月) 北小倉小(2月)	○合同授業研究会(小倉小・10月)	○小学生半日体験入学(11月) ・授業部活動 ○小中合同共同募金の取組(12月) ○児童会・生徒会交流会(10月) ○書き調べハガキの取組(2月)	○合同講演会(北小倉小) ・講演「子どもの育ちを考えた」 府教委 山本さーバーバイザー ○保護者・地域啓発計画 ○小中合同カンパニー(12月)	○9年間を見通した授業規律の共通理解 ◇「家庭学習のすすめ」の有効利用	○「学力面」を中心とした継続的な小中一貫教育の推進 ○中学校入学前の書体みの宿題改訂
3 横島中B	◎「豊かな人間性と未来を創造する子どもの育成」 ○「夢・未来」会議(校長・教頭・教務主任) ○ブロック校長会、教頭会議、コーディネーター会議 ○部会(学力充実、宇治学、道徳、家庭科、特別支援教育、生徒指導、特別活動) ○小学校教務主任 ◇【市英語】	○小中合同研修会「グループ別協議8/21」 ○公開授業・小中合同研修会10/27 ○小中合同公開授業研11/21	○小中合同公開授業研究会 横島小(11/21) ・家庭科研究を中心に、具体的な実践交流を図り、小小連携・小中連携を推進	○6年生体験入学(11月) ○中学生職場体験(10月) ○小・中学生の主張交流大会(3月) ○北横島小学校区餅つき&ク ○児童会・生徒会の挨拶運動(12月) ○小中絵画巡回展	○北横島小学校区青少年健全育成協議会「夏祭り」参加(8月) ○横島小学校区区長参画(1月) ○北横島小学校区餅つき&ク ○児童会・生徒会本部役員研修会(10月)	○ブロックの学力分析による課題解決の取組	○3学期、小学校6年生を対象とした横島中学校生徒指導部による中学校生活に向けてのオリエンテーション ○各校の研究成果の交流による小小連携、小中連携の推進
4 西小倉中B	◎「小中9年間を通して、地域と共に子ども達のゆたかな心と、豊かな学力を育てる」 ○西小倉中ブロック小中一貫教育推進委員会(校長・教頭・コーディネーター) ○学力充実向上部、生徒指導部、児童・生徒交流部 ○部会 ○校長会、教頭部会、コーディネーター部会、養護教員部会、実業・給食部会、事務職員部会 ○小学校教務主任 ◇【府保体】	○小中合同研修会(8/21) ○合同授業研究会 西小倉中(10/27) ○フリー参観 西小倉小(5/18) 西小倉小(11/30) ○教育懇談会 佛教大学 原教授	○合同授業研究会(英語) 西小倉中(10/27)	○6年生体験入学(11月) ○中学生職場体験(6月) ○小中合同学習会(12月) ○募金活動、あいさつ運動	○「家庭学習の充実」につながる意識アンケートの実施及び広報紙による結果報告 ○「一貫教育便り」(学校便り)「HP」にて発信 ○各校の「一貫教育コーナー」(掲示版)の充実	○「いしづえ学習」など、学力充実の取組の連携 ◇自主学習ノートの活用による家庭学習の充実 実	○家庭学習啓発用オリジナルスタンプの活用 ○思考ツールなどを活用した教員研修の実施
5 西宇治中B	◎「自立への学びと社会性の育成を推進し心豊かなたくましい人間を育てる」 ○小中一貫教育推進会議、ブロック校長会、ブロック教頭会、コーディネーター会議、領域3部会(児童生徒指導、学力充実、児童生徒交流)、教科部会、養護部会 ○中学校教務 ◇【市英語】	○合同研修会(6月、8月、10月)	○授業研究会 神明小(10月) ・公開授業 ・事後研究会 ・6月と8月に事前研究会	○中学生職場体験 ○6年生中学校体験入学 ○中学生による小学生への部活指導 ○「朝の挨拶運動」	○西宇治フェスタへの参加 ○小倉小の保護者に中学校授業参観の案内	○「いしづえ学習」など、学力充実の取組の連携 ◇「家庭学習の手引き」の改訂	○中学校「学校だより」の小学校6年生への配布 ○小倉小「学校だより」の校内掲示

平成29年度 小中一貫教育中学校ブロック活動状況(2)

一貫教育課

	◎ ブロック目標 ○ 運営組織体制 □ チーフ・ラーニング・コーディネーター校務分掌 ◇ 教科連携教員教科等	○ 合同研修会	○ 授業研究会	○ 体験活動 □ 児童生徒交流活動	○ 家庭・地域と連携した取組	○ 学力診断テスト活用 □ 授業システム ◇ 家庭学習の取組	○ その他 □ 研究指定事業 ◇ 小小連携
6 南 治 中 B	◎「夢や希望を持ち、未来をたくましく生きぬく児童生徒の育成」 ○推進委員会(校長、教頭、コーディネーター兼教務主任、部長)「ことばの力」育成プロジェクトチーム、7専門部会 □中学校教務主任 ◇【府・理科】	○小中合同研修会(5月・8月・11月) ・新学習指導要領の実施、「学習」副読本の活用に関する研修	○授業研究会 ・外国語活動部 ・小学校の外国語活動、中学校の英語の授業研究 ・事前研・事後研実施	○小・中学生による小学生クラブ指導 ○地域清掃ボランティア活動 ○児童会生徒会合同会議 ○児童会生徒会合同あいさつ運動	○三校合同講演会 ○グローバルフェスティバル(南学治参加) ○西大保新番三世代交流会(1月)参加 ○平盛ふるさとまつり(2月)参加 ○大久保青少年指導センター子ども文化祭(3月)参加	○学力診断テスト活用 ・学力充実部による学力テストの交流・分析	○中学校定期テストへの不安軽減の取組 □ことばの力育成研究事業(西大久保小・平盛小・南学治中) ◇小小連携授業 西大久保小6年生対象 「帰国外国人児童生徒理解学習」
7 広 野 中 B	◎「夢や希望を持って未来を切り拓ける児童生徒の育成」 ○学校運営部会(ブロック校長、教頭部会、事務局部会、コーディネーター部会、専門部会) □小学校教務主任 ◇【府・数学】	○宇治ひろの学園小中一貫教育研究会(5月・8月)	○各校授業研への相互参加 ○中学校体験入学時に小中教員による合同授業	□HOT-MEETING(3校合同児童生徒会(年3回)) □エコキャップ・ブルトアップ回収 □3校合同あいさつ運動 □中学生による小学生への絵本の読み聞かせ(紙芝居) □中学生による小学校クラブへのアシスタントティチャー □福岡ひまわり里親プロジェクト □HOT-STUDY(小6の中学校体験学習)の際の小小交流事業	○3校PTA・高友会保護者懇談会 ○大久保青少年協会の主催大会参加 ○3校合同地域懇談会、学校評議委員会	○全国学力・学習状況調査、府学力診断テスト、CRTテストの結果分析と課題解決に向けた取組の検討及び実施 □板書カード・授業システム等の確認 ◇「家庭学習の手引き」の活用	○中学校教員の小学校体験研修 ○小学校教員の中学校活動見学 ○中学校定期テストへの不安軽減の取組 ◇HOT-STUDY(小6の中学校体験学習)の際の小小交流事業
8 東 宇 治 中 B	◎「命を輝かす人間」 ○ブロック運営委員会(校長、教頭、コーディネーター、小中連携加配)ブロック校長会議、ブロック教頭会議、コーディネーター会議、推進3部会 □小学校教務主任 ◇【府・英語】	○小中合同研修会(5月・8月・11月) ○3小合同研修会・合同学年会(8月)	○小中合同研究授業(道徳) 岡屋小(11/16)	○小・中学生の中学校体験入学(11月) ○エコキャップ回収運動 □花壇ボランティアによるプランター贈呈	○PTA(青友会)保護者合同研修会(11月) ○おおばくまつり(東宇治ふれあいネット)参加	○ブロック児童生徒の学力分析 □授業で使用する板書カードの統一 ◇「家庭学習の手引き(保存版)」の配布	○中学校よりスクールライフサポートブックを小6年生に発行 ○先スタ(中学入前の学習)の配布(小6生) ○中学校定期テストへの不安軽減の取組
9 木 幡 中 B	◎「幼稚園(ふさと)で夢や希望をばぐくみ、未来を切り拓く児童生徒」 ○ブロック校長会、ブロック教頭会、一貫教育推進委員会、8教科部会、6領域部会、教科外連絡会 □中学校教頭 ◇【府・数学】	○小中合同研修会(6月・8月・11月)	○小中合同研究授業研究会(11/15)	○小学生平日体験入学 □児童生活による小学校訪問 □児童会・生徒会交流(あいさつ運動・生徒会通信の各小学校回覧板指示等) ◇三校交流による小小連携 木幡小・笠取小・笠取第二小・御蔵山小・笠取小・笠取第二小 11/25	○青少年協会で取組紹介 ○運動会・体育祭・文化祭へ相互参観	○「学習のてびき」作成・活用 ○学び合いを大切にした授業のモデル化	○中学校の「生活便り」を6年生に(笠取小・笠取第二小は、5・6年生に)配布 ○6年生卒業後の春休み宿題(国語・算数・英語)
10 黄 葉 中 B	◎「高い志を持ち、他者と協調しながら、たくましく生き抜く人間を育成する」 ○小中一貫の組織を構成 □小学校教務主任 ◇【市・英語】	○年間を通じた合同研修	○文部科学省「外国語教育強化拠点事業」の指定を受け、全学年での外国語活動、外国語科、英語の研究の実施	○黄葉ウォーカー(1・9年生の交流) □体育大会・文化祭での交流 □OBAKU(6・7年生の交流) □学園会組織 □「宇治学」資料による5～7年生合同学習	○校内環境整備作業 ○子どもフェスティバル ○左藤長参加 ○保護者のための連絡セミナー	○学力診断テスト活用 ・夏期研修において府学力診断テスト・CRTの分析報告 ○やましろ授業スタンダードを活用した授業づくり △「家庭学習の手引き」を活用した学習内容の改善	○中学校定期テストへの不安軽減の取組 □英語教育強化地域拠点事業

ブロック小中一貫教育目標

ふるさと宇治を愛し、未来を展望し、たくましく生きる児童生徒の育成

めざすこども像

- ア とともに学び、考える児童生徒
- イ たくましく生きる児童生徒
- ウ 笑顔を大切にする児童生徒

今年度の取組

- (1) 中学校ブロック推進体制の充実
ブロック校長会の指導のもと、教頭とコーディネーターを要とした推進体制の充実を図った。
各校の教頭、コーディネーターで取組の方向性について検討し、ブロック校長会の指示のもと、具体的な取組を各専門部で推進できた。
- (2) 系統的・継続的な学習指導・生徒指導の充実
年度後半に、授業づくり、宇治学、人権・道徳の3つの専門部会において、公開授業研究会（事前研⇒公開授業⇒事後研）を実施した。また、授業づくり部会においては、小学校から中学校への円滑な接続を意図し、「児童生徒の学力向上」に向けた取組を小・中学校協働で進めた。
- (3) 中学校ブロックにおける特色ある教育活動の展開
これまで行っている交流の取組（クラブフェスティバル、駅伝合同練習、鼓隊クラブ・吹奏楽部合同練習・合同リーダー研修会）の内容を精査し、より効果的な方法を検討し、実施できた。
- (4) 家庭・地域社会との連携
小中一貫 教育校だより（F U T T）や学校だより、ホームページ等を積極的に活用しながら小中一貫の取組を紹介した。また、中学校教員が小学校に出向き、6年生保護者に対して「中学校準備講座」を開催したり、6年生児童に対して、中学校の「定期テスト」に対してどのように学習すればよいか話を聞いたりする機会を設けた。
中学校の学校だよりを6年生全員に配付し、中学校の様子をよく知ってもらうとともに、各小学校の学校だよりを中学校の掲示板に掲示した。

今年度の成果と課題**(成果)**

- ・2学期に、授業づくり、宇治学、人権・道徳の3つの専門部会において、公開授業研究会を実施することができた。
- ・課題であった公開授業への専門部員の参加については、今年度多くの部員が参加することができた。
- ・授業づくり部会については、京都府学力診断テストの交流が行われ、2小共通に見られる児童の学力課題を共通理解し、学力向上に向けた取組（2小共通の春休みの宿題）ができた。
- ・小学6年生に対して中学校教員より「中学校でのテスト」に対しての話を聞く機会を設けることができた。

(課題)

- ・学力向上に向けて、小学校中学校の教師がもっと議論をし、どのようにしていくのか具体的に取り組む必要がある。（学力向上に向けての組織の見直しが必要）
- ・ホームページを活用して、保護者・地域への啓発・発信を進めていく必要がある。

来年度に向けて

- ・児童生徒の学力向上に向けて、小学校中学校の教師がもっと議論をすることができる組織の見直しを図る。
- ・児童生徒が主体的・対話的で深い学びとなる授業について、研究授業等を通して研究を進めていく。

ブロック小中一貫教育目標

「質の高い学力を目指し、授業改善をすすめる」

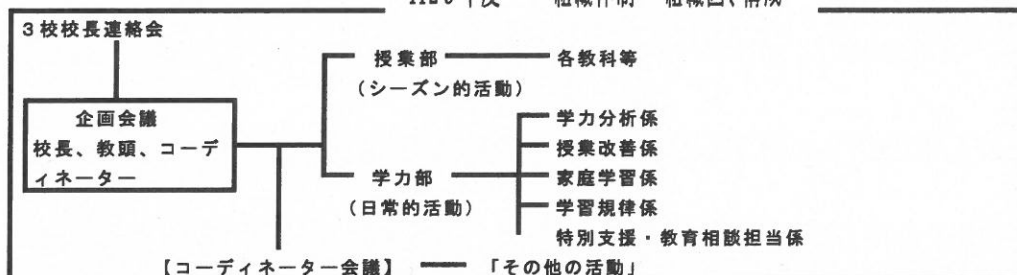
めざす子ども像

・自ら考え、自発的に表現できる子(知) ・人と地域のつながりの中で豊かな心を育て、他を大切にする子(徳) ・運動に親しむことにより、楽しく生活できる子(体)

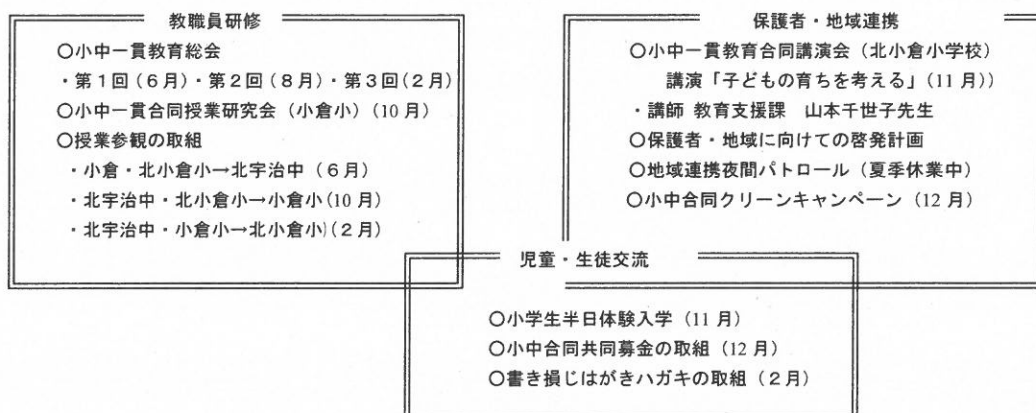
今年度の取組

【推進組織】

H29年度 組織体制…組織図、構成



【取組の概要】

H29 年度の成果と課題

- ・新しい組織体制のもと、合同授業研の充実・発達段階に応じた授業規律のあり方・入学前の「春休みの宿題」の改訂など、学力面を中心に継続的に小中一貫教育の推進が図れた。
- ・学力充実を中心に小学校と中学校の連携を一層深め、具体的な学力向上の成果を出していく必要がある。
- ・保護者や地域を含めた、小中一貫教育の取組の理解や周知の徹底を図っていく必要がある。

来年度に向けて

- ・系統的、継続的取組を通して、学力充実を中心に小中一貫教育の推進をさらに図っていく。
- ・多様な観点から学力の伸長を目に見える形での数値化を図っていく。
- ・中一ギャップの解消を図れる取組をさらに進めて行く。
- ・平成30年度から移行期間となる小学校の英語教育をブロック内で連携し、円滑な実施に向け研究を進める。

小中一貫教育 マキシマム・プラン

小中一貫教育目標とめざす子ども像
「豊かな人間性と未来を創造する子どもの育成」
○心身共に健康で、明るく活動する子
○意欲的に学び、深く考え、豊かに表現する子
○地域でつながり、共に支え合い、高め合う子

今年度の重点

☆榎島中学校ブロック研究テーマ

“話し合い活動(対話的な学び・主体的な学び)”をテーマにした授業作りについて

目的：話し合い活動を充実させることで児童生徒の意欲的な学習活動につなげ、授業を通して子どもの力をつけていく。

取組

教職員研修

- 小中合同研修会(6/13 榎島中)
- 小中合同研修会(8/21 北榎島小)
- 小中合同部会(11/21 榎島小)

児童生徒交流

- 陸上運動交歓記録会(10/17)
- 中学生の職場体験(10/25～27)
- 小学生の中学校体験入学(11/8)
- 児童会・生徒会挨拶運動(12/12～13)
- 小・中学生主張交流会(3/2)

保護者地域連携

- 北榎島小学校区青少年健全育成協議会「夏祭り」(8/5)
- 榎島中学校ブロックPTA・育友会合同本部役員研修会(10/27)
- 榎島小学校区左義長(1/13)
- 北榎島小学校区防犯・クリーン活動&もちつき大会(1/20)

成果と課題

◇各校コーディネーターが連携し、連絡・調整・共通理解を進め、取組を計画的に実施することができた。また、ブロック校長会、教頭会の推進を図ることができた。

◇教職員研修では、中学校ブロックの学力分析を行い、基礎学力のさらなる定着のための取組、家庭学習の推進など、学力充実に向けた児童生徒の課題に迫る研究を推進することができた。

◇榎島小学校の家庭科研究について紹介し、家庭科部会を中心として具体的な実践交流を図り、研究成果に基づいた小小連携・小中連携を推進することができた。

◆家庭学習のあり方を再検討し、実態に合わせながら学力充実のため改善していく必要がある。

◆授業改善の視点を整理し、日々の実践につながるよう、連携をさらに深めていく必要がある。

平成30年度に向けて

◇中学校ブロックの授業作りのテーマを「主体的・対話的で深い学びの充実」と設定し、榎島小学校が取り組んでいる家庭科研究の小小連携・小中連携を機能させながら、児童生徒の授業意欲を向上させるための授業改善および家庭学習の充実に向けた研究を進めていく。

つながりを深めよう

組織・授業・地域

小中一貫教育目標

小中9年間を通して 地域と共に 子ども達の ゆたかな心と 確かな学力をはぐくむ
めざす子ども像

- ・自分の考えを 豊かな表現力で伝え合う子
- ・地域とつながり 思いやりの心を大切にする子
- ・健康に気を付け 自らの目標に向かってがんばる子

【今年度の取組】

推進組織

- 「学力充実・向上部」「生徒指導部」「児童生徒交流部」の3部会による各担当コーディネーターを中心とした課題の解決に向けた取組

教職員研修

- 合同研修会
 - ・夏季合同研修会（8月21日）とグループ別協議
 - ・合同授業研究会後の事後研
- 公開授業（中1～中3）及び合同研修会
 - ・西小倉中学校（10月27日）教科：「英語」
- フリー参観
 - ・南小倉小（5月18日）
 - ・西小倉小（11月30日）
- 教育懇談会（2月23日）
 - 〈助言：佛教大学 原 清治教授〉

学力充実

- 家庭学習の手引きの配布
- 自主学習ノートの活用による家庭学習の充実
- 学力実態・分析
- 家庭学習アンケートの実施（6月）
- 西小倉中ブロック「家庭学習啓発用オリジナルスタンプ」活用
- 春休み学習課題（6年）の作成・配布

児童生徒交流

- 職場体験（6月13日・14日）
- 小中合同学習会・募金活動
 - ・合同学習会（12月6日）
 - ・募金活動（12月13日）近鉄小倉駅前
- あいさつ運動（中学生職場体験と合わせて）
- 地域の行事に中学生が参加

家庭・地域連携

- 家庭学習の充実に繋がるアンケートを小中で実施
- 「一貫教育だより」や「学校だより」、またHPによる取組の発信
- 各校の「一貫教育コーナー」（掲示板）を充実
- 3校合同地域懇談会の実施（6月30日）
- 「小中一貫教育推進ニュース」の発行（4回）
 - 〈家庭学習アンケートの結果を報告〉

小中のスムーズな接続のために

- 教科連携加配（体育）の中学校教員による小学校5、6年生の指導
- 西小倉中学校体験入学（11月21日）
 - ・6年生の中学校生活体験（授業・部活動体験）
- 小中連絡会（5月30日・3月）
- 中学校定期テストに向けた不安軽減の取組

【平成29年度の成果と課題・来年度に向けて】

〈成果〉

- ・夏季合同研修会のグループ別協議に於ける「思考ツール」の活用や、合同授業研究会の公開授業に於ける「やましろ授業スタンダードを活用した授業シート」を用いることで、多様な考えや意見を交流することができ、その後の取組にも繋げることができた。
- ・家庭学習アンケートを三校で実施することで、各校の家庭学習の実態を確認することができ、効果的な家庭学習に対する考えを共有することができた。
- ・「『ほめる』ことが児童生徒の学習意欲向上や日常生活向上のために効果的である」という仮説のもと、ブロック共通の「スタンプ」を作成し、積極的に活用した。年度末は、佛教大学の原清治教授を招いて教育懇談会を実施し、本ブロックが推進している小中一貫教育の様々な取組について助言をもらい、ブロックの教員を交えて教育トークを行った。
- ・コーディネーター会議を充実させることにより、その後の推進委員会を効果的に行うことができた。

〈課題〉

- ・推進委員会として各部、取組の進行管理を行い、成果と課題を次年度へ確実に繋いでいく。
- ・各部会の代表者と各校コーディネーターが連携しながら取組を進め、各部会が中心となって活動できるようにしていく。

〈来年度に向けて〉

- ・学力充実・向上に向けての取組について、今年度中に確実な検証を行い、課題点を次年度へ繋げる。
- ・各部会の取組について、継続していく取組、変更する取組等を整理し、次年度へと引き継ぐ。
- ・学力充実・向上に向けて、小学校は義務教育の入り口の1年生からの6年間の発育・発達上の歩みを大切に、中学校は義務教育の出口である進路保障を目標に、9年間でどのような力を付けさせ、どのような人間教育を行っていくのかをブロック教職員で考えを共有し、小中の「繋がり」をより意識した小中一貫教育を推進していく。

ブロック小中一貫教育目標**N・I・S目標**

「自立への学びと社会性の育成を推進し心豊かでたくましい人間を育てる」

めざすこども像

- 徳「つながる力」：温かい心で助け合う子。 節度をもった礼儀ある子。
違いを認め合える子。
- 知「展開する力」：深く考え、よく聞き、意欲的に表明する子。
- 体「挑戦する力」：ねばり強く諦めない子。 基本的生活習慣や健康に配慮できる子。

今年度の取組

- (1) 中学校ブロック推進体制の充実
 - ・ ブロック校長会をはじめ各会議を適宜開催し内容の充実を図るとともに、推進計画が円滑に遂行されるよう、各会及び各部との交流、連携に努めた。特に、コーディネーター会議や3部会代表者会等、計画の実践における実務的な会については、定例会を実現して取組全体の活性化を図った。
- (2) 系統的・継続的な学習指導・生徒指導の充実
 - ・ 第3回西宇治中学校ブロック小中一貫教育合同研修会（10月）の公開授業（会場：神明小学校）に向けて、6・8月の2回にわたる3校合同の研修会を持ち、各教科の指導案作成及び指導方法等について、研究・研修を実践した。
 - ・ 小学校入学から中学校卒業まで、9年間に及ぶ児童生徒の教育活動に見通しを持った学習指導の方法を研修した。
 - ・ 中学校ブロック作成の「宇治学」実施計画に基づいた学習を実践し、小中学校間での交流に努めた。
 - ・ 「いしずえ学習」として、西宇治中ブロック「家庭学習の手引き」活用の啓発をはじめ、中1ふり返りスタディーの活動、「宇治学」実施計画遂行等において、小中学校の連携及び協働を目指した。
- (3) 中学校ブロックにおける特色ある教育活動の展開
 - ・ 中2「職場体験学習」の場を小学校に設定する取組（5月31日、6月1、2日）や、小学校児童への中学生の「部活動を生かした交流」（駅伝練習など）の実施等々、相互の理解と交流を深める取組を積極的に実践した。
 - ・ 小6「中学校体験入学」（11月8日）を実施して、児童の小中格差に関わる不安を取り払い、スムーズに中学校生活へ移行できるよう支援した。
 - ・ 共同で「朝のあいさつ運動」に取り組み、児童会・生徒会相互の交流を深めた。
- (4) 家庭・地域社会との連携
 - ・ 広報誌発行（小中学校保護者、及び地域へ配布）の取組を定着させるとともに、小中一貫教育啓発掲示板の有効活用、各校学校だより（小5・小6・中1対象分）の他校への配布、各校HPでの広報の工夫等々、広く地域に発信し理解と支援を求めた。

今年度の成果と課題

- 必要な諸会議や交流を定例化して、小中学校間の連携を推進・強化することができた。
- 年3回の「N・I・S合同研修会」で行ったアンケート調査の結果に、柔軟な対応をとることができた。
- 既存の取組一つ一つを丁寧に見直しながら適宜改善を施し、維持継続と充実にも努めた。
- 各取組や研修会の記録、アンケートの集約結果などを、印刷物及び電子データとして整理・保存した。
- 広報紙を、「生徒・保護者用」年3回、「教職員用」年2回、計5回発行し充実させた。
- 各校の学力分析結果に基づいて合同研修した内容を、実際にそれぞれの課題解決に十分活かし、「学力充実部」及び「教科部会」を中心とする全ての部会が、総掛かりで実践していく体制には弱さがあつた。

来年度に向けて

- ・ 今年度を実施した小中連携行事については、次年度も継続できるよう準備を整え、新学習指導要領に照らしながら、さらに充実させていく。
- ・ 学力分析については、3校の「学力分析担当」が協働で分析にあたる機会を設定し、データをより多角的に捉えたり、深い考察に至れるような取組を発展的に構築する。
また、「数学（算数）・国語・質問紙調査」等の分析に関する研修に小中連携加配を活用するなど、多面から課題解決の方策を取り入れて、学力向上に重点を置いた取組を推進する。

ブロック小中一貫教育目標**めざすこども像**

夢や希望を持ち、未来をたくましく生きぬく児童生徒の育成

今年度の取組

- (1) 中学校ブロック推進体制の充実
 - ・ブロック校長会、ブロック教頭会をふまえ、コーディネーター会議及び推進委員会の計画的実施
 - ・ブロック校長会の指導に基づく推進計画の立案・改善充実
 - ・コーディネーター会議及び推進委員会等における教科連携加配教員の効果的な活用
 - ・校長、教頭、コーディネーターの各校取組の参観
- (2) 系統的・継続的な学習指導・生徒指導の充実
 - ・公開授業参観の実施
 - ・事前研・事後研を含む授業研究の実施
 - ・小中教員が協働で指導案を作成し、チームティーチング授業を実施
 - ・外国語活動英語部、学力充実部及び連携授業（理科）、専科指導（図工）の年間を通じた交流、授業研究、学力分析
- (3) 中学校ブロックにおける特色ある教育活動の展開
 - ・小学6年生の授業体験・部活動体験の実施
 - ・中学校生徒による小学校児童への部活指導支援（サッカー部・野球部）
 - ・小中合同地域清掃ボランティア活動の実施
 - ・児童会生徒会合同あいさつ運動の実施
 - ・西大久保小学校での帰国外国人児童生徒理解学習の実施
- (4) 家庭・地域社会との連携
 - ・3校の学校だよりを各校内、各校門横に掲示
 - ・地域に学校だよりを配布
 - ・「小中一貫教育だより」を校区の保護者対象に発行
 - ・小中育友会合同で3校合同講演会を実施

今年度の成果と課題

- ・年間計画に基づいて、ブロック校長会の指導の下、児童・生徒の交流を数多く持ち、小中間のつながりを深められたが、より主体的な活動にしていきたい。
- ・3校合同研修会で児童生徒の実態について交流し、教員間の授業改善に向けた意識統一を図った。また、新学習指導要領と「宇治学」副読本の活用に向けた研修も行い、本校区の児童生徒にとって、探究的な活動の必要性を共有できた。
- ・平盛小学校の教員が西大久保小学校で国際理解学習を行ったこと、両小学校に向けて中学校の定期テストの事前指導うことにより、中学校の学校生活がスムーズにスタートできた。
- ・「ことばの力」育成研究事業のまとめとして、3校で公開授業を行い、児童生徒の成長を3校で確認した。
- ・学力の向上の取組を具体的に進めるため組織・体制を検討していく必要がある。

来年度に向けて

- ・ブロック校長会の指導の下、学力向上に向けて、組織・体制を見直し、9年間を見通した授業システムの構築や、家庭学習の取組（学習の手引きの作成など）を進める。
- ・児童・生徒の交流が実りあるものとなるよう、主体的な活動にしていこう。



宇治ひろの学園 (広野中学校ブロック)

広野中学校
大久保小学校
大開小学校

宇治ひろの学園 教育目標 : 夢や希望をもって未来を切り拓ける児童生徒の育成

推進組織

学校運営部会
(3 校長)



事務局部会
(コーディネーター部会)



学力部会

児童生徒理解部会

児童生徒交流部会

その他の部会

小小学年部会

29年度の取組

★児童生徒が交流する取組

- ・HOT-MEETING (3 校合同児童生徒会) の実施
- ・HOT-STUDY (中学校 新入生半日入学)
- ・3 校でのエコキャップ・プルタブの回収
- ・クラブアシスタントティーチャー (中学生の小学校クラブへの参加)
- ・中学生による小学生への紙芝居の読み聞かせ
- ・福島ひまわり里親プロジェクトへの参加 他

★学力充実の取組

- ・板書カード・授業システム・家庭学習の手引き
- ・全国学力・学習状況調査、府学力診断テスト、CRT テストの結果分析と課題の共通理解
- ・小学校高学年での「教科担当制」
- ・中1 振りスタへの小学校教員の参加
- ・中学校定期テストへの不安軽減の取組

★教職員が交流・共同研究する取組

- ・宇治ひろの学園研究会の開催
(5 月総会、8 月夏季合同研修会)
- ・2 小学校教員による小小交流の充実
- ・各校授業研究会への参加
- ・小学校教員による中学校の部活動見学
- ・中学校教員による小学校体験研修の実施 他

★保護者・地域と交流する取組

- ・広野中学校吹奏楽部定期演奏会 in 大久保小学校
「オータムメモリーコンサート」の開催
- ・3 校合同地域懇談会の開催
- ・3 校合同学校評議員会議の開催
- ・子どもの主張大会 (大久保学区青少協主催)
- ・大開っ子クラブ (土曜日の活用事業) での広野中学校生徒の参加 他



平成 29 年度の成果

- ・児童会、生徒会を中心に多彩な取組を進めることができた。
- ・小中一貫教育を支える小小連携に力を入れ取組を進めることができた。
- ・学園の学力課題を焦点化した共通問題を作成し、授業の中で活用することができた。
- ・広野中学校生徒や教員と小学生が具体的な中学校の生活や学習の仕方について話し、感じたことを小学校生活に生かす活動を通して、中学校に向けての不安を軽減することができた。
- ・3 校合同での地域懇談会や学校評議員会議を開催するなど、学校、家庭、地域で連携・協力しながら小中一貫教育を進めることができた。
- ・3 校の行事予定表や HOOP (宇治ひろの学園小中一貫だより) を作成して家庭や地域に配付し、小中一貫教育について積極的に情報発信することができた。

平成 30 年度に向けて (課題)

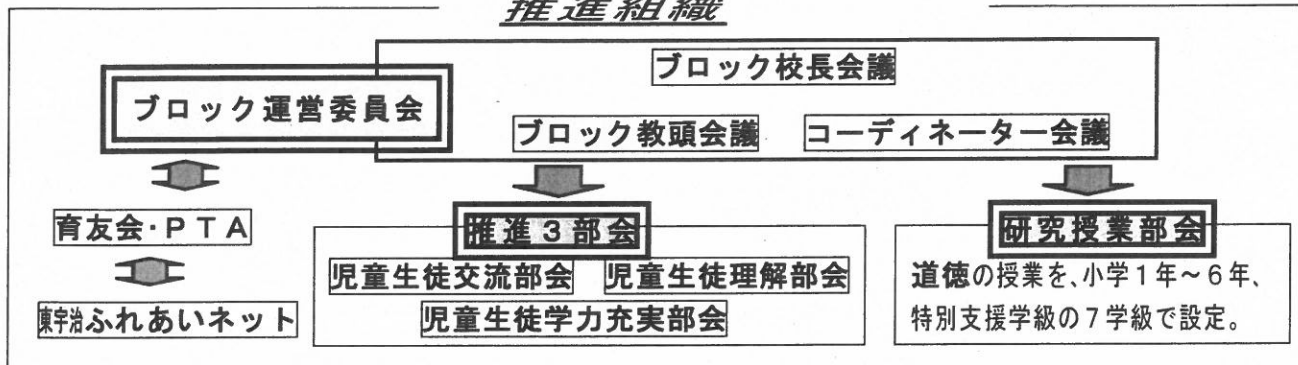
- ・各校の教職員の交流や共同研究を充実させ、教職員の意識や日常的な取組を定着させる。
- ・小小連携を更に充実させて有効活用し、無理なく効果的な小中一貫教育の取組を進めていく。
- ・学園全体の学力向上を目指し、さらに学力充実に焦点化した取組をさらに推進する。
- ・家庭、地域に対して「目に見える取組」をさらに展開していく。

小中一貫教育の全体像

教育目標 「命をかがやかす人間」

めざす児童・生徒像 「自ら学び学習する児童・生徒」 「思いやりのある児童・生徒」
「たくましく生きる児童・生徒」 「健康や安全を考える児童・生徒」

推進組織



取組の実践

教職員研修

- 小中合同研修会 (5/29・8/23・11/16)
- 小中合同研究授業 (11/16 会場:岡屋小)
- 相互授業参観
 - ・小学校から中学校授業参観 (5/29)
 - ・中学校から小学校授業参観 (6/2)
- 教職員広報の発行
- 4校学校便りを教職員へ配布
- 3小合同研修会＋合同学年会 (8/23)
- 中学1年ふりスタへの小学校教員支援
- 東宇治中ブロック児童生徒の学力分析

児童・生徒交流

- 小学6年生の中学校体験入学 (11/8)
- 中学2年生の小学校での職場体験 (5/25・26)
- エコキャップ回収運動 (セレモニー2/14)
- 中学生の美術作品巡回展示 (2学期)
- 花植ボランティアによるプランター贈呈
- 地域行事での交流

家庭・地域との連携

- 小中一貫教育便りの発行
- 「家庭学習の手引き」(保存版)の配布
- PTA・育友会 保護者合同研修会 (2学期)
- 小中一貫教育コーナー(掲示板)の設置
- 小中一貫教育リーフレットの配布 (小学1年・転入生)
- 「おおばくまつり」(東宇治ふれあいネット)

小中スムーズな接続のために

- スクールライフサポートブック配布 (小学6年)
- 先スタ (中学入学前の学習)の配布 (小学6年)
- 小学6年生の中学校体験入学 (11/8)
- 小中連携教員による外国語活動指導 (小学6年)
- 東宇治中入学保護者説明会 (12/1)
- 小中連絡会 (5/15・12月・2月)
- 中学校学校便りを小学6年生に配布
- 授業で使用する板書カードの統一化
- 定期テスト対策 (小学6年)
- 「宇治学」カリキュラムの検討

小中一貫教育推進に関わって

- ブロック校長会議・ブロック教頭会議とコーディネーター会議の連携を強化する中で、取組の方向性や具体的取組内容を明確し、全教職員の共通理解を図りながら、小中一貫教育を推進する。
- ブロック運営委員会・ブロック校長会議・ブロック教頭会議・コーディネーター会議・推進3部会・研究授業部会の役割を明確にし、効率的・機能的な組織体制を確立する。

成果と課題

- 本ブロック児童・生徒の実態を踏まえ、授業や指導を通じた小中合同の研究・取組を進めることができた。
- 様々な形式での児童・生徒交流や地域・家庭連携のための情報発信・取組を積極的に進めることができた。
- ブロック校長会議・ブロック教頭会議のリーダーシップのもと、コーディネーター会議で調整を図りながら、様々な取組を推進することができた。
- 児童・生徒の学力課題や生活課題を一層明確にし、小中一貫教育の視点で、課題解決に向けた取組を進める必要がある。

平成30年度に向けて

- これまでの成果と課題を踏まえた取組を推進しながら、「義務教育9年間の系統的・統一的な指導で確かな学力と生きる力を身に付ける」という視点で、取組の点検・評価・改善を進め、本ブロック小中一貫教育の一層の推進を図る。
- 新しい教育の方向性(新学習指導要領)を見据えながら、小小連携・小中連携の中で、系統的・統一的な指導の在り方を追求し、児童生徒の生きて働く学力・生きる力の育成につなげる。

ブロック小中一貫教育目標

めざす子ども像 故郷（ふるさと）で夢や希望をはぐくみ、未来を切り拓く児童・生徒

今年度の取組

- (1) 中学校ブロック推進体制の工夫や充実
ブロック校長会と小中一貫教育推進委員会を常にリンクさせ、計画的に取組を推進する。
8教科領域部会および6教科外連絡会の定例化を図り特色のある取組を推進する。
- (2) 系統的・継続的な学習指導・生徒指導の充実
 - ・ 中学入学時の不安軽減へ向けての様々な取組を行う。
 - ・ 中学校英語教員による全小学校での授業（通年、毎週）を実施する。
 - ・ へき地校を含んだ小小連携授業・交流学习を実施する。
 - ・ 合同研修会を通して小中教員が連携し、児童理解につながる研究授業を行う。（11月15日）
 - ・ 小中が継続的に一貫した目標で取り組む事で小中のなめらかな接続を図る。
 - ・ 各小学校において積極的に教科担当制を取り入れる。
 - ・ 合同研修会を通して学力向上のための授業改善を図る。
- (3) 中学校ブロックにおける特色ある教育活動の展開
 - ① 中学校ブロック小中一貫教育推進組織体制や計画・取組についての点検・評価の実施
 - ・ 部会ごとのアンケートをもとに推進委員会の中で総括する。その中で、成果や課題を明らかにし次年度に有効な方向を探る。
 - ② 中学校ブロックにおける教職員の研究・研修の充実
 - ・ 全教職員が、教科領域部会または教科外部会に所属する。
 - ・ 各校の学校行事の計画段階で小中一貫教育を意識した取組を計画的、有効的に組み込む。
 - ・ 研究の具体的な方向性を掲げる。
どの教科にも通じる「学び合い」「ことばの力」を大切に授業にしていける。
 - ・ 研究授業に向けて取り組む中で、小中の学習指導の流れをお互いが認識し、系統的・継続的な指導を行う。
 - ・ 年間3回の小中教員の合同研修会（6月14日、8月21日、11月15日）を柱にする。その中で各部長を中心とした教科領域部会を持ち、少ない機会であっても有効に活用する。
 - ・ 8月21日の研修会では、全体会で各学校の重点研究を発表し合い、小中での教育活動の連携を図る。

H29 年度の成果と課題**成果：**

- ・ ブロック校長会の指導のもと、推進委員会で意見交流しながら児童・生徒交流や教員交流が深められた。
- ・ 小小連携や小中連携の各種取組は、しっかりとブロック内に定着し滑らかな小中接続に貢献している。
- ・ 美術・音楽・図工・技術・家庭をつににしたことで芸術科目の授業について話し合うことができた。
- ・ 小中合同研修会の持ち方や、教科外連絡会の持ち方などは、今後も検討する。
- ・ 「学び合い」を大切に授業を研究授業に向けて担当教員を中心に準備をすることができ、授業の内容についても研修会の中で話し合うことができた。
- ・ 話し合いを積極的に取り入れていこうという意識を持って取り組む教員が小中で増えている。

課題：

- ・ 「学び合い」を取り入れた授業を行うことに対して、イメージを持てずに授業を進めてしまい、4人組をするだけになってしまう場合がある。継続的に「主体的・対話的で深い学びのある授業」をブロック全体で取り組めるようにする必要がある。

来年度に向けて

- ・ 小中合同研修会での研究授業は、「学び合い」「ことばの力」を大切に授業を行う。そのために、合同研修会の中で「主体的・対話的で深い学びのある授業」についての実践方法を研修会内で共有する。そのために、具体的な実践に取り組んでいる講師を招き、授業のイメージを持てるようにする。
- ・ 「主体的対話的で深い学び」の実現を目指す授業を実施ためにグループ学習・4人組・ペア学習・ディベート・発問の工夫などを授業に取り入れる。
- ・ 教科外連絡会を①児童生徒交流②健康安全③学力充実・いじめ④児童生徒理解の4連絡会とする。
※生徒指導・教育相談・特別支援教育を統合し、「児童生徒理解」とする。

ブロック小中一貫教育目標【めざすこども像】

- ・ 高い志を持って、学びの道を究める人（質の高い学力）
- ・ さわやかな心、優しい心を持った人（豊かな人間性・社会性）
- ・ 強い意志を持って、人生を切り拓く人（意欲や情熱・健康な体）

今年度の取組**1 学力向上の取組**

本校では「子ども達が自ら学ぶ姿勢を育てる」ことが、大きな意味での学力向上につながると考え、本年度は、①授業改善②家庭学習の充実の2点を重点として取り組んだ。

(1) 授業改善**① やましろ授業スタンダードに基づいた授業づくり**

ア 学期に1単元（小は学年、中は教科ごと）授業研究を行う。

イ 単元全体の中で、ねらいを明確にした「交流」する場面を設定し、考えの比較検討、練り合いを体験させる。

ウ 学習の振り返りを必ず行う。（自らの学びを客観的に捉える力を培う。）

② パターン化した授業づくり

ア 「見通しカード」を活用した授業づくり

(2) 家庭学習の充実**① 家庭学習定着の取組**

ア 毎日の復習、基礎学力の定着を目指した内容を課題として出す。（小学校）

イ 定期的に、家庭学習の時間調査を行い、意欲を喚起する。（中学校）

② 予習・復習を盛り込んだ内容

ア 毎日のプリントにその日の授業内容の復習を入れる。（小・算数科）

イ 単元の導入時に、関連する既習事項の復習や調べ学習を取り入れた予習的学習の実施。（小）

ウ テストに向けての学習計画を作り自主学習を行う。（中）

(3) その他

① 診断テスト分析等を効果的に活用して、授業改善を行う。

② 6年生を対象に、定期テストの不安軽減の取組を行う。

学習計画表の活用、解答用紙の使用に慣れる、中学校の学年末テストと併せての実施等

2 中学校ブロックにおける特色ある教育活動の展開**(1) 文科省「外国語教育強化拠点事業」の指定を受けての外国語活動、外国語科の授業の実施**

① 全担任（小学校）がT1で授業を実施

② 全ての学年で英語を使った「やり取り」する力の育成を目指した授業を実施

(2) 異年齢集団活動の実施

① 施設一体型一貫校の強みを活かし、黄檗ウォーカー（1・9年生）、きずな科（5・6・7年生）、OBAKUミーティング（6・7年生）、縦割班活動（1～6年生）と多様な異学年集団活動を実施

今年度の成果と課題

- 1～9年生が共に過ごす中で、自然と下級生は上級生を見て学び、上級生はその自覚を持つことで自律的な態度を身につけている。
- 文科省指定研究の外国語活動では「単元ゴール」を意識した授業作りを徹底し、指導にあたることができた。他教科についても、同じような観点での授業作りを意識し、学年単位（小）・教科単位（中）で検討を始めている。組織体制を整備し、継続して実施できるようにしていくことが必要である。

来年度に向けて

- 「子ども達が自ら学ぶ姿勢を育てる」ことを目指した授業改善、家庭学習の取組をさらに強化する。
- 外国語教育の研究で培った指導を継続して行う。
- 外国語教育の研究で培った子ども達の「伝えたい気持ち・伝え合う気持ち」を引き出す授業づくりを他教科の授業づくりに取り入れながら進める。

平成29年度宇治市小中一貫教育推進協議会の活動報告

1 協議会の活動

小中一貫教育に関する取組全般の進行管理を行い、取組内容の点検確認とともに改善について意見の交換等を行う。

2 29年度の活動計画

(1) 協議会（年2回開催予定）

①第1回協議会 8月2日（水）

②第2回協議会 2月～3月開催予定〔年度末進行管理〕

※本協議会は必要に応じて会長が招集する。（本協議会設置要項第6条）

(2) 取組視察（2学期予定）

中学校ブロックの取組を視察し、その後現地にて交流・協議を行う。

・視察受け入れ可能な取組を委員が選択し参加する。

・学校と小中一貫教育推進協議会委員の交流・協議の場をもつ。

（管理職や小中一貫教育コーディネーター等に対応をお願いする）

(3) プロジェクトチームの設置

本年度はプロジェクトチームの設置予定なし。

3 29年度の活動報告

(1) 協議会

①第1回協議会 8月2日（水）

②第2回協議会 3月7日（水）

(2) 取組視察

日 付	視察校〔中学校ブロック〕	取組内容	視察委員
8／18（金）	大久保小学校〔広野中学校ブロック〕	夏季合同研修会	荻副会長 松元委員 村田委員 井戸本委員 内田委員
10／16（月）	小倉小学校〔北宇治中学校ブロック〕	小中合同授業研究会	榊原会長 石田委員
10／18（水）	西大久保小学校〔南宇治中学校ブロック〕	6年生帰国児童生徒理解学習	井戸本委員 葛山委員
10／25（水）	神明小学校〔西宇治中学校ブロック〕	小中合同研修会	榊原会長
11／8（水）	東宇治中小学校〔東宇治中学校ブロック〕	6年生半日体験入学	松元委員 川嶋委員
11／8（水）	木幡中学校〔木幡中学校ブロック〕	6年生半日体験入学	荻副会長
11／16（木）	宇治黄檗学園〔黄檗中学校ブロック〕	学園会選挙	村田委員
11／17（金）	広野中学校〔広野中学校ブロック〕	HOT-STUDY	内田委員

＊7中学校ブロックの取組視察を実施

＊委員視察時に視察ブロック関係者と意見交流や協議を実施
〔学校関係者委員視察時を除く〕

平成29年度 宇治市小中一貫教育に係る視察受入状況

日 付	団 体 名		人数	視 察 先
7月12日（水）	日高市議会	埼玉県	8	宇治市役所
7月27日（木）	鈴鹿市教育委員会 教育政策課	三重県	3	小倉小学校 (小倉デイホーム)
11月16日（木）	結城市議会	茨城県	4	宇治市役所
1月5日（金）	交野市立第一中学校区における適正配置等に関する懇談会参加者 交野市教育委員会事務局	大阪府	28	宇治黄檗学園
2月2日（金）	義務教育学校の設置検討調査研究 特別委員会	奈良県 王寺町	17	宇治市役所

（平成30年2月末日現在）

* 計5団体 60名